

立川第二中学校区

(第二小学校 第五小学校 南砂小学校 立川第二中学校)

[小中連携のテーマ]

主体性をもち、自ら考えて行動できる子どもを育む連携活動

[ねらい]

- 公開授業とテーマごとの分科会を実施し、児童・生徒の実態を把握すると同時に、小中の教職員が意見交換し、義務教育9年間を見通した教育実践に対する共通認識をもちます。
- 学区の小学6年生と立川第二中学校生徒と一緒に活動する機会を設け、地域に暮らす児童と生徒間の望ましい人間関係づくりを目指します。この活動を通して小学生が進学時に抱く中学校生活に対する不安等の解消を図ります。
- 立川第二中学校区内の3校の6年生児童が意見を交流し合い、学び合う活動を通して、入学後の円滑な人間関係の形成の一助とします。

[具体的な取組]

1 確かな力 ～見通しと振り返りの定着～

小中連携教育活動

本来であれば、第五小学校を会場として、7月は公開授業を行う予定でしたが、各校からのリモートでの全体会・分科会を行いました。今年度は分科会を刷新しました。①教務部会(教育課程編成)②学力向上部会③体力向上部会④小中連携外国語部会⑤生活指導部会⑥ICT推進部会⑦立川市民科部会の8つの分科会を立ち上げ、各教科・領域における児童・生徒の課題を整理し、9年間を見据えた、地域の特長を生かした教育の確立を目指します。

今年度は各校教員間の移動及び交流は、感染拡大につながるとしてリモートとしました。

2 社会のために ～元気な声であいさつしよう～

小中連携あいさつ運動(7月2日)

立川第二中の生徒が校区の3つの小学校に出向き、小学生と一緒にあいさつ運動を行いました。各小学校には、卒業した中学一年生が訪問し、登校する児童に対して「優しく」あいさつをしてくれます。いつもと違う光景に、正門をくぐる児童は、少し照れながらも、中学生に深々とお辞儀を返します。児童・生徒の「あいさつ」を通じた心のつながりを、これからも大切にしていきたいと考えています。



第二小学校



第五小学校



南砂小学校

3 やさしい心 ～小学生と中学生の相互理解～

二中紹介・部活動体験（12月10日）

第一部は、校内見学。第二部は生徒会による中学校の紹介。第三部は部活動体験です。例年、部活動体験では、運動部・文化部の活動に直接触れ、心地よい汗を流したり、会話を楽しんだりしてお互いに交流を深めています。今年度は新型コロナウイルス感染症対策として、部活動体験を中止し、部活動紹介を行いました。

立川第二中学校では、生徒が主体的に取り組む態度を育むことを大切にしています。当日は後輩たちの笑顔に支えられて、生き生きと活動する中学生の姿を見ることができました。



4 個を輝かせ ～よろしく！今日から友達～

選択交流授業（2月25日）

3校の児童が自ら希望した教科の教室へ行き、互いに交流しながら学習を進めます。中学校の学習内容の一端に触れ、また、他校の児童と触れ合うことを通して、入学後の不安を解消するとともに、進学への意識を高めます。

[取組の成果]

- 義務教育9年間で意識して、4校の取組の良いところを共有して取り組んでいます。
- あいさつ運動は、二中の1年生の希望者をそれぞれの母校に派遣しました。良い点として、活気が出たこと、あいさつ以外の面でもお互いの良い刺激になったことが挙げられます。

[今後の課題]

- 小学校の「外国語活動・外国語」への中学校英語教員の派遣にとどまらず、指導内容・指導方法等、活発に意見交換しながら、指導技術の向上を図る必要があります。
- 小学校1年生から中学校3年生までの全児童・生徒に一人1台タブレットが配布されました。電子図書館やデジタルドリル、リモート授業等の学びを保証するための活用とともに9年間を見据えたタブレットPCを活用した実践事例を、連携しながら開発する必要があります。
- 小学校高学年で8割方の児童がスマートフォンを所有している実情を踏まえ、より実態に合ったSNS学校ルールの見直しをする必要があります。